

<基本情報>

所在地：鹿児島県霧島市

<農場概要>

- 茶27ha、全て有機栽培
- 生産から製造・加工・販売までの一貫経営を確立
- 平成13年（2001年）に有機JAS認証を取得。



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 平成5年（1993年）、茶の価格が低迷する中、茶に付加価値を付けるため、霧島山麓の冷涼な気候や標高の高い台地の地条件を生かした有機茶栽培を開始。

<販売について>

- 販売する全商品が有機JAS認証品。
- 茶の市場が低迷する中、国内の茶市場では販売先の限界を感じ、平成27年（2015年）、ドイツに「KIRISHIMA UG」（欧州支店）を設立。
- 現在、年間約8t（生産量の約2割）をEUを中心に輸出。海外での日本茶ブームもあり、輸出量も増え、安定した価格で取引を実現。
- 国内でも有機茶として有利販売を実現。



【お問合せ先】TEL.0995-45-0036

会社ホームページ<http://kirishimacha.web.fc2.com/index.html>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

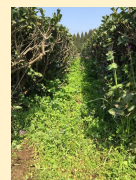
- **病害虫対策**
病害虫に弱い品種（やぶきた）から病害虫に強い品種（あさのか、かなやみどり）へ転換することにより、無農薬栽培を実現。
- **雑草対策**
メインは草刈り機による除草+人手による除草。
- **土づくり**
茶のおいしさは肥料の投入量と比例するため、家畜糞に米ぬか・籾殻・菜種油粕・鯉ソリュブル・糖蜜を混ぜた自家製有機堆肥により、高品質な有機茶生産を実現。

<苦労しているところ>

- 有機農業は草との戦い。除草作業が軽減できるよう、茶園で使える自動草刈り機の実用化に期待。

<今後の展開>

- 山林の開墾や耕作放棄地を活用し、生産面積を50haへ規模を拡大。



除草前



除草後

